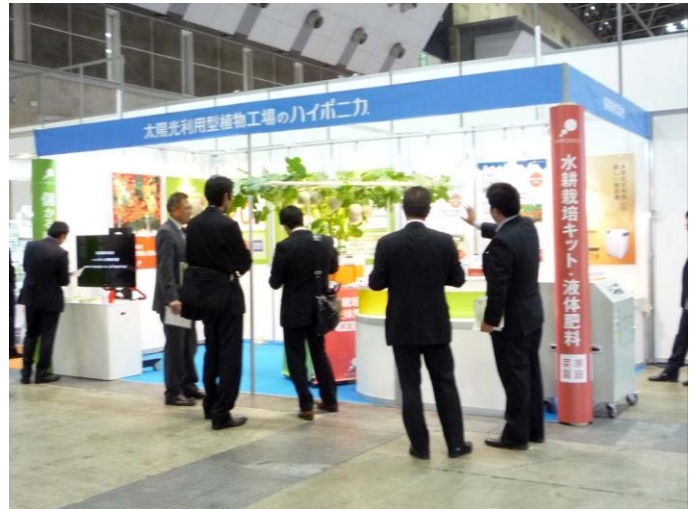


**世界初！ 農業で投資利回り 20%以上を保証！！**  
**アグロイノベーション 2012 で発表 協和株式会社**

協和株式会社（大阪府高槻市 代表取締役 野澤 重晴）は、儲からないとされている農業で、生産から販売までを独自の技術と販売方法を確立させることによって、太陽光利用型植物工場への設備投資額に対する利回り 20%以上保証するビジネスモデルを発表した。同社は 1966 年から水耕栽培の研究と開発を行い、現在まで累計 2000 カ所を超える販売実績をもつ水耕栽培メーカーの老舗である。



アグロイノベーション 2012 での当社ブース

従来の農業は、重労働、高齢化や、地域や季節、作物品種、栽培管理者の技術レベルにより品質・収量が安定しないことが、問題点である。また、現在の市場流通の仕組みでは、儲からない原因となっており、事実30年前と比べても生産者手取りは減少している。

同社の栽培システムとマニュアル化された栽培技術は、安定した高収量と高品質が確保できる生産体制を提供している。この技術は世界でも類を見ない独自性によって地域や季節、作物品種、さらには栽培管理者の技術レベルをもカバーされている。

また、高い品質の収穫物は独自の販売チャネルやブランディングにより、中央卸売市場を介さず高値で取り引きされるため、従来の流通の仕組みでは考えられなかった高い収益性を持つ新しい産業の創出が可能となった。

この高い収益性をベースとした投資家向けのオーナー制、新規事業参入としてのフランチャイズ制の新しいビジネスモデルを提案した。

「オーナー制」：投資金額の10%の償還と5%の配当金を10年間継続し、計150%のリターン率を保証  
農場の運営（生産～販売）は同社が行う。

「フランチャイズ制」：投資金額の20%にあたる利益（粗利）を保証

同社が栽培、販売、経営まで指導するので、異業種からの新規参入も容易。

※ 保証内容・条件は同社が別途定めた保証規程に準ずる。

### <ハイポニカ水耕栽培について>

協和(株)は1962年から水耕栽培の研究を開始、1966年から国内で水耕栽培プラントの販売を行っている老舗のメーカーで、1985年のつくば科学万博の政府館でトマトの放任栽培により一株から一万六千個の実をつけた【巨木トマト】を展示しました。この独自の栽培技術は国内外から多くの評価を受けています。

特に同社のシステムは全ての作物や生育時期において、肥料の成分や濃度を変えず、常に同一濃度、同一組成で栽培ができるため、自動化、省力化が容易であると同時に、土栽培では不可能とされる栽培技術の標準化が可能であることが大きな特徴です。

植物が生育する環境を安定に保つことで、生理状態を高レベルで安定し、土での栽培や他の水耕栽培と比べて生育速度が速く、品質が高く、収量も多い特長があります。



巨木トマト  
一株から一万六千個の実

### <会社概要>

【代表者】 野澤 重晴 (ノザワ シゲハル)  
【設立】 1953年7月  
【資本金】 9,600万円(グループ合計23億7千万円)  
【事業内容】 プラスチック成型金型設計・製造、  
・成型部品製造・販売  
・水気耕栽培ハイポニカの設計・製造・販売  
(URL) <http://www.kyowajpn.co.jp/hyponica/>

### <本件に関するお問い合わせ>

ハイポニカ事業本部 広報担当  
天野 督章(アマノ トクアキ)  
E-mail: [t-amano@kyowajpn.co.jp](mailto:t-amano@kyowajpn.co.jp)  
TEL: 072-685-1155 FAX: 072-685-7090